

ふるさと応援団木島平会会報

木島平にトキが飛来しました

3月4日、午前10時から11時頃にかけて、木島平村上木島でトキの飛来が確認されました。目撃されたトキは、昨年9月に佐渡市で放鳥され、上越市や長野市で目撃されたトキと同じもののようで、環境庁長野自然環境事務所自然保護官により固体番号「03」の3歳の雌と確認されました。この日から問い合わせが殺到し、トキをひと目見ようと朝から晩まで村内外、遠くは県外からもカメラマンや報道関係者等、週末には約500人が訪れ、まさに時の人ならぬ「時のトキ」となりました。3月8日の早朝村を後にし、新潟県十日町市で確認されましたが、村に滞在していた5日間はトキフィーバーに包まれました。

村は「有機の里づくり」として有機農法や減農薬栽培に取り組んでおりトキの餌となるドジョウなどの水生生物も棲みやすい環境であることが証明できたのではないのでしょうか。



三鷹旅行会 「鬼島太鼓「青春を弾つ」」 藤原國平

2月22日(日)調布市のグリーンホールにおいて、鬼島太鼓「青春を弾つ」が演奏されました。

東京公演だけで品川2回、調布1回、木島平のパノラマランドのディナーショーの春秋2回で合計5回程度は毎年見ている事になります。人はよく飽きず見るとおっしゃいますが、我々仲間はずます鬼島太鼓の魅力に取り付かれています。

「なぜだろう」それはあの小さな子どもたちから高校生まで自分たちの限界を超え、お互いに励まし合い力の限り打ち連れる姿を見ている人たちの共感を呼ぶのではないのでしょうか。

昨年の秋に一本のDVDが届きました。何だろうと思い開けてみました。「TBSスペシャル8!打ち鳴らせ!こころの鼓動 鬼島太鼓密着二百日!」でした。さっそく仲間を集めて写して見ました。すばらしいDVDが送られてきたと感動いたしました。25周年も過ぎて送り出したメンバーは80人を超えている。小林春彦指導者とリーダーの有賀ちゃんが常に心を一つにしないと思うような演奏は出来ない。そんな時はいつもゼロからのスタートでリーダーを中心に流した分だけ技術が上がっていく。

今私たちの住む三鷹市では、小中一貫教育を取り組んでおりますが、木島平では和太鼓を通して小・中・高の一貫教育をされているのではないですか。いつも鬼島太鼓を聞き、指導者とはこうあるべきまた、リーダーとはこうあるべきをこのDVDより教えられました。

「小さな村の大きな太鼓」

今日また子どもたちが我々に積極的に話しかけてくれました。新しく入られた小学生のメンバーからより新鮮さを感じ取ることが出来ました。「いつも元気をもらっている鬼島太鼓」

我々はまた、この11月22日にパノラマランド木島平のディナーショーに出席いたします。皆さんも是非一度参加してください。そして子どもたちに声援を送ってください。



☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

中町区 地区のテーマ (将来像) 水と緑と心のふるさと

中町区(107戸、約410人)には村の無形民俗文化財「盆じやもの」という盆踊りがあります。その中で「桜は花だ、人は見目より、ただ心」と唄われている思いを大切に、心通うふるさとの「水と緑の自然」を子どもたちに引き継ぎ、住み慣れた地域で親しい人に囲まれ、健康な日々を過ごすことができ、誰もが気軽に参画できる区を目指し、区民の交流連携を図り歴史と伝統文化、環境と福祉まで社会が変化する中で積極的な活動を実施しています。

年初めの道祖神をスタートに、樽花通りの花植え、親水公園管理、道路や河川・区施設の清掃共同作業をし、マレットゴルフ大会、運動会、盆踊り後の親睦会、ごみ分別啓蒙と交通安全街頭指導の実施、ここにこデイや多世代交流、お楽しみ会等の福祉活動も好評を得ています。

また、水生動植物の環境保全を考慮した工法での裏川河川改修補助事業も行い地区づくりテーマ実現に向けて区民の努力と協力の底力で、誇れる区を目指しています。



▲夏まつりで披露された「盆じやもの」

どんど焼き 小松 潔

1月15日の夜の行事です。野沢温泉村のどんど焼きが勇壮で全国的に有名になりました。

中町区にも三基(中上、中下、小路)作られました。秋に村山から切り出した生木を三角に組み、中段に棚を作り、その棚に正月飾りや書初めなどを一杯に詰め燃やします。掛け声、囃し言葉などあつたか覚えておりません。松葉のパチパチ燃える音、炎とともに火の粉が舞い上がり夜空を焦がします。往時4・5歳年長で頃分であつた先輩方の顔、五十有余年経った今でも思い出されます。

“どんど焼き”

受け継がれているのでしょうか。